

道路行政セミナー—09年12月号 NO.015 2009年12月22日発行

☆☆ポイント☆☆

◆◆◆特集◆◆◆

◇◆平成19年度道路交通管理統計の概要◆◇

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

道路交通管理統計は、毎年、全国の道路管理者に調査のご協力をいただいて作成し、道路の管理体制等を的確に把握するとともに、道路の実態に即した望ましい道路交通管理のあり方を検討するための基礎資料としている。

本稿においては、平成19年度調査の結果について検証し、今後の課題を探る。

◆◆◆道路法令 Q&A◆◆◆

◇◆道路法クイズ◆◇

～初心者からベテランまで道路法の理解を深めよう～

(国土交通省 道路局 路政課)

今回の道路法令Q&Aでは、道路法についてより一層の理解を深めていただくとともに、積極的に日頃の道路行政に活用していただこうと、道路法クイズを作成いたしました。ベテランの皆さんも初心者の皆さんも楽しみながら解答してみてください。

◆◆◆TOPICS◆◆◆

◇◆「御堂筋 kappo2009」開催について

～幹線道路を活用した大イベントの実施～◆◆

御堂筋 kappo2009 実行委員会事務局

(大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 都市魅力課)

10月11日(日)、大阪のメインストリート御堂筋を1日限定で歩行者に開放し、御堂筋をかつぼしながら、新しい大阪の魅力に出会っていただくイベント「御堂筋 kappo2009」が開催された。

多くの来場者が訪れ、御堂筋の魅力、大阪の魅力を体感していただいた御堂筋 kappo2009の概要を紹介する。

◆◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇◆

★ドクターヘリの離着陸に係る

道路管理者の協力体制についての実施検討事例★

(北海道開発局 建設部 建設行政課)

道路管理者は、ドクターヘリの着陸場所の確保に関し必要な協力を求められた場合は、これに応ずるよう努めるものとされています。道内にて平成 21 年 10 月から新たに 2 圏域（合計 3 圏域）でのドクターヘリの運行を開始するに当たり、北海道開発局として道内の直轄国道における統一の取り扱いを整理しましたので事例紹介します。

★香川県における道路管理の取組み

～環境美化・広告収入・橋梁長寿命化～

(香川県 土木部 道路課)

香川県では、平成 13 年度から、地域の方々と協働して道路管理を行う「香川さわやかロード事業」を、また、平成 21 年度から、道路管理の財源確保を目的とした「道の駅の広告事業」を実施しています。

また、平成 20 年度から 23 年度までの 4 年間で全橋梁の長寿命化修繕計画を策定しています。

★自転車を利用したまちづくりに向け

～人と自転車が笑顔で行き交う サイクル・エコシティ高松～★

(高松市 都市整備部 道路課)

高松市では、第 5 次高松市総合計画に基づき、快適で人にやさしい都市交通の形成を図

るため、平成 20 年 1 月に、国から「自転車通行環境整備モデル地区」の指定を受け、自転

車走行空間の確保や駐輪場の整備など、自転車利用の環境づくりを推進しています。

今回は、平成 21 年 2 月に実施した「自転車道社会実験」の取組みについて紹介します。

編集後記

年の瀬も押し迫ってまいりました。お正月を迎える準備はできていますか。
今回は、お正月の話をお届けしたいと思います。

お正月は、その年の歳神様（としがみさま）をお迎えし、また、昨年の年中行事が無事に終了したことをお祝いして新年を迎えるという日本の伝統行事です。恥ずかしながら…私は、国民の休日としか思っていないませんでした。歳神様ごめんなさい。

さて、歳神様は、何の神様だかご存知でしょうか。諸説あるようですが、農耕を司る“田の神”であるとする説や、“御先祖様の神霊”であるとするなど、地域によって異なり、その実態ははっきりとはしていません。

年末の恒例行事である大掃除。来る新年を新たな心持ちで始めるために…と思っていたのですが、本来は、新たな年に歳神様を家庭にお迎えするため、1年分の汚れをきれいに除去するというもの。また、お正月には、家庭で門松や鏡餅を飾ったりしますが、門松は歳神様を招く目印として飾り、鏡餅は歳神様へのお供えもの。

そして迎える1月1日。1年の無病息災を祈りながら、迎えた歳神様とともに、お供えた餅を雑煮にしたものや、おせち料理をいただく。これがお正月の迎え方だといいます。また、お正月には、祝い箸という両側が細く丸い柳箸を使いますが、もう一方で歳神様が食べられるよう、両方とも使えるようになっています。このように、歳神様と家族とで一緒に食事をするを「神人共食」といい、お正月は、神人共食を行う行事だったのです。

さて、子供にとっての、お正月最大のイベント“お年玉”。皆様も、お年玉をもらったことや配ったことがあると思います。現在では子供に金銭を与える習慣という意味合いが強くなっており、配るほうの大人は出費がかさむイベントかと思いますが、そもそもお年玉は、歳神様に供えた餅を下ろし、餅玉として年少者に分け与えたのが始まりといわれています。時代とともに、お餅玉→お年玉に変化していったのですね。年貢→税金といった具合に。。。

お正月に関する行事は、宗教的な意味合いがあるものもありますが、日本人が古来より大切にしてきた文化的行事だと思います。例年、なんとなく大掃除をし、なんとなく鏡餅を飾って、おせち料理をいただいてきましたが、今年は、意味を理解したお正月を迎えられそうです。

本年も、道路行政セミナーをご愛読頂きありがとうございました。
来年も宜しく願いいたします。
良いお年をお過ごしください。(U)